

# 光市記者発表資料

令和4年12月19日

件名

2022年光市10大ニュースの選定について

標記の件につきまして、市政運営の観点から、重要性や市民生活への密着性などを踏まえて選定しました。

## 記

2022年光市10大ニュース

- 第3次光市総合計画によるまちづくりがスタート
- 「つながり」をテーマに市民参加型の取り組みを推進
- 塩田コミュニティセンターを塩田小学校と複合化
- 歴史文化遺産を未来に残す取り組み 石城神社本殿の保存修理と海軍水道布設替え
- 施設一体型小中一貫やまと学園新設に向けた取り組みを開始
- 人、地域、暮らしをつなぐ「公共交通ネットワーク」を充実
- 光市小周防・東荷地区に新たな産業団地の整備が決定
- 「アフターコロナ」に向けた地域経済活性化を推進
- 快適な暮らしの実現に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進
- コロナを乗り越え3年ぶりのまつりにぎわう

※各ニュースの詳細については、別紙の説明資料を参照してください。

問合せ

担当課・係 広報・シティプロモーション推進室  
                  広報・シティプロモーション推進係  
担 当 者 中川 雅文 (TEL0833-72-1409)

### ●第3次光市総合計画によるまちづくりがスタート

「ゆたかな社会」の実現に向けた新たな指針となる「第3次光市総合計画」に基づくまちづくりがスタートしました。

また、「オールひかり」のまちづくりを推進するため、市長と市民の皆さんが対話を行う「市長と気軽にミーティング（おでかけ版）」を実施しました。

### ●「つながり」をテーマに市民参加型の取り組みを推進

「みんなと<sup>と</sup>ウォーキング事業」や「冠<sup>かんむ</sup>リコーの森」、「まちのPR動画の制作」や「まちの『光』認識・発見ツアー」など、市民参加型の取り組みにより、人と人、人とまちなどに新たなつながりが生まれました。

### ●塩田コミュニティセンターを塩田小学校と複合化

老朽化した塩田コミュニティセンターを塩田小学校と複合化しました。コミュニティセンターを中心に学校と地域との連携をさらに進め、地域に新たな活力を生み出します。

### ●歴史文化遺産を未来に残す取り組み 石城神社本殿の保存修理と海軍水道布設替え

国指定重要文化財建造物である石城神社本殿の屋根や木部などに腐食や欠損が見られるため、約40年ぶりに保存修理工事が行われました。

また、戦前に整備され、長年市民の生活を支えてきた「海軍水道」の撤去を含めた水道送水管の布設替え工事に着手しました。「海軍水道」は一部を保存することを検討しています。

### ●施設一体型小中一貫やまと学園新設に向けた取り組みを開始

施設一体型の小中一貫教育の具現化に向けた「施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針」を策定しました。

方針で第1期に位置付けている「やまと学園（大和中学校区）」の新設に向け、6月から地域説明会を実施し、11月に準備委員会を設置しました。

### ●人、地域、暮らしをつなぐ「公共交通ネットワーク」を充実

交通弱者の移動を支援するため、地域で自主運行する三島地区へコミュニティ交通車両を新たに貸与しました。

また、使いやすさに配慮した新しい市営バスの導入や、外出しやすい環境を創出するため高齢者を対象としたバス・タクシー運賃の助成など、公共交通施策を展開しました。

●光市小周防・束荷地区に新たな産業団地の整備が決定

県による新たな産業団地の整備場所に小周防・束荷地区が選定され、県と基本合意を締結しました。28年ぶりとなる産業団地の整備により、雇用の場の創出や地域経済の活性化だけでなく、人口減少の抑制や税収の増加など様々な相乗効果が期待されます。

●「アフターコロナ」に向けた地域経済活性化を推進

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民生活への支援や物価高騰への対策として、市民一人あたり1万円分の「コロナ克福商品券」を配布しました。

また、消費喚起のための補助事業を実施し、地域経済の回復を支援しました。

●快適な暮らしの実現に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進

市民の希望に応じた情報発信やごみ分別方法の自動応答など、市民と行政双方の情報受発信の充実を図るため、光市LINE公式アカウントを開設するとともに、スマートフォンの購入補助や使用方法についての講座を開催しました。

また、オンライン行政手続きを拡充し、デジタルを活用した利便性の向上を図りました。

●コロナを乗り越え3年ぶりのまつりにぎわう

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を取りやめていた「光まつり」や「ひかりふるさとまつり」が3年ぶりに開催されました。

そのほか「成人のつどい」や「まちぐるみWedding」など各種イベントが対面で開催され、多くの笑顔があふれました。